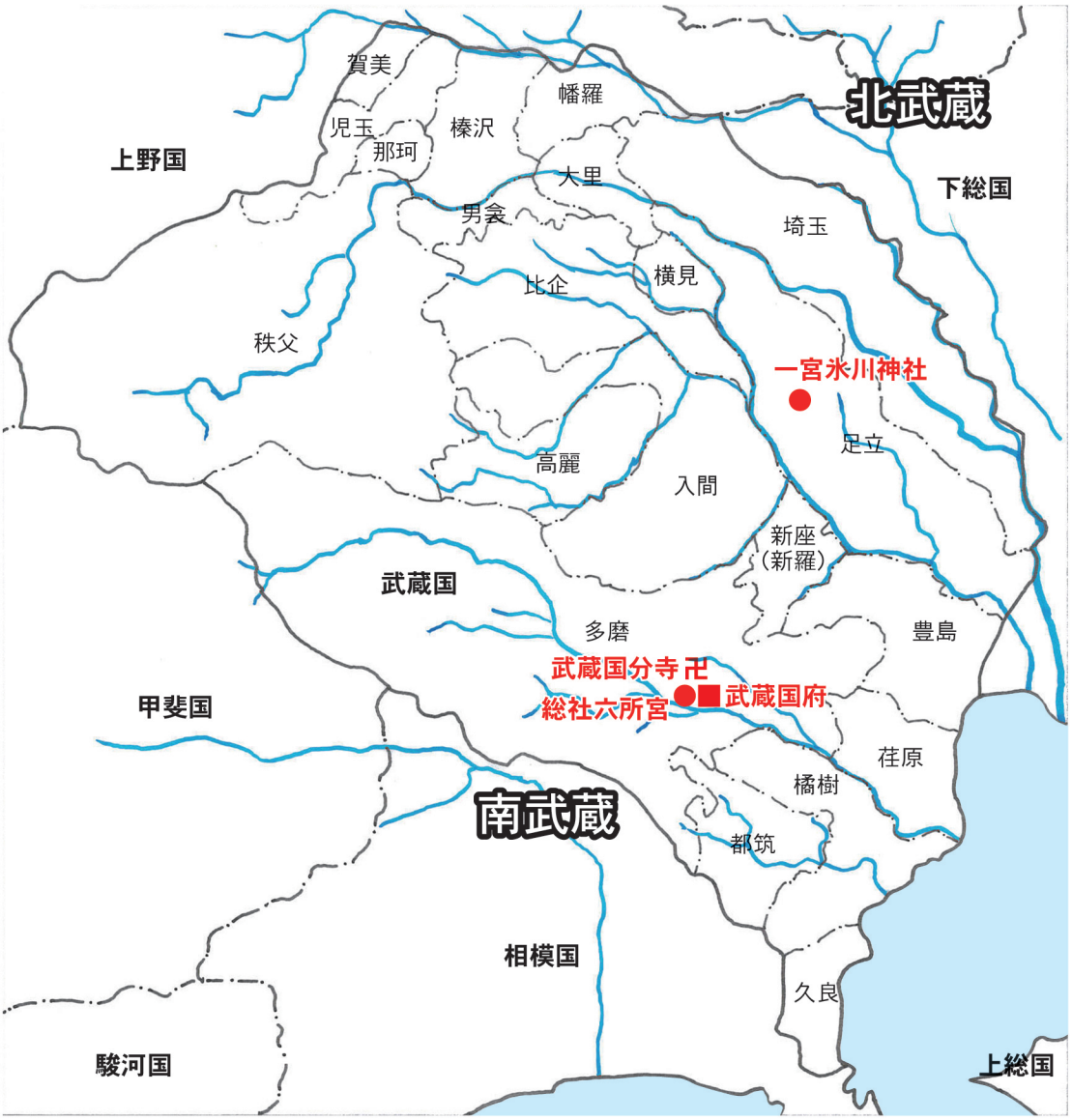
武蔵国の郡と地域構成



武蔵国は大きく北と南に分けることができる。
北の中心は大宮氷川神社で、古代に出雲族が越、信州を経て武蔵に入った。天孫降臨族は、関八州の武蔵国を除く各国を押さえた。南武蔵は、武蔵国では新興であったが、主導権をとり、国府を多磨郡に置き、六所宮を総社として国の中心とした。

中世武蔵国絵図について

この絵図は法政大学江戸東京研究センターの「水都－基層構造」プロジェクトの一環であり、江戸基層研究の一角を担う府中玉川プロジェクトの成果物である。絵図作成にあたり、法政大学エコ地域デザイン研究センターにおける水都論やエコヒストリーの手法を用いて解析した。

出版：法政大学江戸東京研究センター　法政大学エコ地域デザイン研究センター　2020年7月
〒102-8160東京都千代田区富士見2-17-1
https://edotokyo.hosei.ac.jp/　　問合せ先　edotokyo-jimu@ml.hosei.ac.jp

制作：神谷　博（法政大学江戸東京研究センター・法政大学エコ地域デザイン研究センター　客員研究員）